



第 72 回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会



2016 年 8 月 25 日 (木) ～8 月 28 日 (日)

トラック競技：伊豆ベロドローム (周長 250m) ロード競技：日本 CSC 5km サークルコース

主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財) 日本自転車競技連盟

後援：スポーツ庁 一般財団法人日本サイクリスポーツセンター サイクルメカ伊豆推進協議会

協賛：(公財) JKA (公社) 全国競輪施行者協議会 (一社) 日本競輪選手会 株式会社パールイズミ

ブリヂストンサイクル株式会社 セイコータイムシステムズ株式会社 協力：株式会社日直商会

Communique-7

2016 年 8 月 22 日

チーフコミッサー 岩間光輝

トラック競技に関すること

1. チーム役員登録証 (トラック) および正選手届、補欠選手起用届

- トラック監督会議の際に、チーム役員登録証 (トラック) をセクレタリに提出すること。今回のインカレに参加する大学のすべてのチームが提出するものとし、未提出及び提出の大幅な遅れに関してはペナルティを科す場合もあるので、注意すること。
- 団体種目 (4km チームパーシュート/男女チームスプリント) はラウンド毎の選手変更を可とし、当該競技番組開始の **1 時間前まで**に、出走者変更の有無に関わらず出走選手届を、セクレタリに提出すること。個人種目においての補欠起用に関しては補欠選手起用届を当該競技番組の最初のラウンドの招集時に招集受付 (またはセクレタリ) に提出すること。

各用紙については、当連盟ホームページから前もってダウンロードしてプリントし、もれなく記入してそれぞれ指定した提出先に遅れないように提出すること。

2. 空気抵抗を減じるなど競技者能力に影響をあたえるため、あるいは競技者の身体を強制するため (圧迫、引張、支持) の、付加的な衣類または物は禁じる。また、屋内トラックにおける競技ではシューズカバーの使用は禁止される。(2016JCF 規則第 8 条 6 項)

3. タンデム・スプリントに使用する自転車の器材について

(J I C F 沿革・組織・憲章・規程 Ver.11.0 2016.04.01.版 p 15～p 16を参照

http://jicf.info/hp/wp-content/uploads/2016/04/16jicf_gakuren_annai_160401.pdf)

- タンデム・スプリントに使用する自転車については、上記のタンデム用自転車器材に関する規定に加え、後輪の駆動側にチェーン引き又は同等の効力をもつ緩み防止装置の装着を義務付ける。装着なき場合はレース・練習を問わず使用を禁ずる。

4. 招集・バイクインスペクションについて

- 招集は全種目の最初のラウンドのみで行う。この招集はチーム役員登録者である代理の者でも可とする。
- バイクチェックはすべての種目のすべてのラウンド毎に行う。選手本人が走る姿 (ユニフォーム・ゼッケン・ヘルメット着用、自転車持参) で参集のこと。各ヒートに於いて、バイクチェック後のポジション変更、車輪変更等の器材の変更は認められない。

5. パーシュートまたはタイムトライアル種目

- スタートしてそれが正しく行われたと認められたなら、コーチとして 1 名だけがそこに留まることができるが、軽率な応援身振りなどは一切認められない。(2016JCF 規則第 59 条)

6. 男女スプリント

- 1/4 決勝は、1 回戦制で行う。



レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://jicf.info/>



第 72 回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会



2016 年 8 月 25 日 (木) ～8 月 28 日 (日)

トラック競技：伊豆ベロドローム (周長 250m) ロード競技：日本 CSC 5km サーキットコース

主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財) 日本自転車競技連盟

後援：スポーツ庁 一般財団法人日本サイクリススポーツセンター サイクルメカ伊豆推進協議会

協賛：(公財) JKA (公社) 全国競輪施行者協議会 (一社) 日本競輪選手会 株式会社パールイズミ

ブリヂストンサイクル株式会社 セイコータイムシステムズ株式会社 協力：株式会社日直商会

7. タンデム・スプリント

- 予選は、6 周を周回する内の最後の 1 周 (250m) を計時する。また、対戦に入ってから、6 周回で行う。
- 1/4 決勝、5-8 位決定予選、7-8 位決定戦、5-6 位決定戦は、1 回戦制で行う。

8. ケイリン

- エントリーが 29 名のため予選を 6 組で行い、各組 1 位上がり、敗者復活戦を 6 組で行い、各組 1 位上がりとしてそれぞれ 1/2 決勝へ進出する。
- 1/2 決勝から各組上位 3 名が決勝へ、下位 3 名は 7～12 位決定戦に進出できる。
- デルニーライダー追走時も、違反行為は厳に慎むこと。

9. ポイントレース

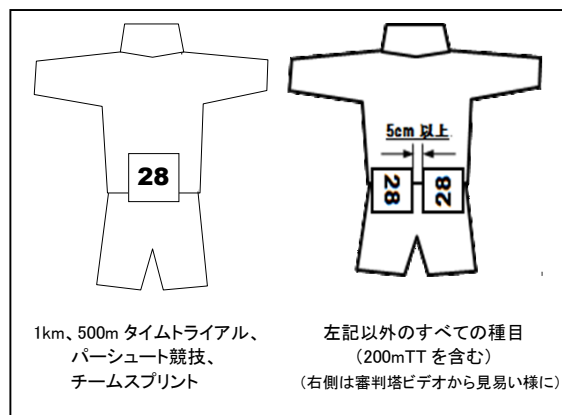
- 男子ポイントレース 予選を 2 組 (10km) で行い、各組上位 8 名が決勝 (40km) に進出する。
- 女子ポイントレース 決勝のみ距離 20km (80 周回) で行う。
- 男女共通 専用のボディーナンバーとフレームプレートをつけて行う。フレームプレートは、フレーム前方の中央に装着すること。出走 1 時間前を目処に、受付にボディナンバーとフレームプレートを取りに来ること。各組終了後は速やかに、ボディナンバーとフレームプレートを返却すること。また、主集団から遅れ、集団から抜け出した選手に追いつかれた選手は原則棄権を宣告するので、承知しておくこと。

10. スクラッチ

- 予選を 2 組 (7.5km) で行い、各組上位 8 名が決勝 (15km) に進出する。
- 専用のボディーナンバーとフレームプレートをつけて行う。出走 1 時間前を目処に、受付にボディナンバーとフレームプレートを取りに来ること。各組終了後は速やかに、ボディナンバーとフレームプレートを返却すること。

11. ボディーナンバー (ゼッケン) について

- トラック用のボディーナンバーとロード用のボディーナンバーは番号が違うので注意すること。
- トラック競技最終日にボディーナンバーは必ず返却すること。チーム単位でまとめて大会本部へ返却すること。
- 紛失、未返却は 1 枚 1,000 円のペナルティを科す。
- ボディーナンバーをつける際の安全ピンは各校で用意すること。
- ボディーナンバーの装着は一般規則に準じる。(右図参照)
- ポイントレース、スクラッチでは、専用のボディーナンバーとフレームプレートを使用のこと。フレームプレートは、フレーム前部中央につけることを原則とする。中央に取り付けられず、左右どちらかに寄ってしまう場合は、右側に寄せること。
- 乗車した姿勢で、出来るだけシワがよらない様に、装着してください。





第 72 回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会



2016 年 8 月 25 日（木）～8 月 28 日（日）

トラック競技：伊豆ベロドローム（周長 250m） ロード競技：日本 CSC 5km サーキットコース

主催：日本学生自転車競技連盟 共催：（公財）日本自転車競技連盟

後援：スポーツ庁 一般財団法人日本サイクルスポーツセンター サイクルメカ伊豆推進協議会

協賛：（公財）JKA （公社）全国競輪施行者協議会 （一社）日本競輪選手会 株式会社パールイズミ

ブリヂストンサイクル株式会社 セイコータイムシステムズ株式会社 協力：株式会社日直商会

12. ニュートラリゼーションへの対応について

- ニュートラリゼーションへの対応のため、チーム役員登録証に登録してある各校 1 名をサポートとしてホーム側又はバック側どちらか一方の出入口付近での待機を認める。

13. 表彰式

- チームユニフォーム着用の事。サングラス・帽子の着用、サンダル履きは禁止する。

14. ハンドルバー、並びにアタッチメントバーの全ての端面には、バーエンドキャップを装着のこと。また、安全のため滑らない様にハンドルバーにはバーテープを巻くこと。

15. トラック競技でのホルダーに関すること

- ケイリン
- ポイントレース（内側スタート）
- スクラッチ（内側スタート）

に関しては、各チームでホルダーを用意して下さい。



第 72 回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会



2016 年 8 月 25 日 (木) ～8 月 28 日 (日)

トラック競技：伊豆ベロドローム (周長 250m) ロード競技：日本 CSC 5km サークットコース

主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財) 日本自転車競技連盟

後援：スポーツ庁 一般財団法人日本サイクルスポーツセンター サイクルメカ伊豆推進協議会

協賛：(公財) JKA (公社) 全国競輪施行者協議会 (一社) 日本競輪選手会 株式会社パールイズミ

ブリヂストンサイクル株式会社 セイコータイムシステムズ株式会社 協力：株式会社日直商会

Communique-8

2016 年 8 月 22 日

チーフコミッサー 岩間光輝

ロード競技に関すること

1. チーム役員登録証 (ロード) の提出

- ロードの監督会議の際に、チーム役員登録証 (ロード) 及びロードの補欠選手起用届をセクレタリへ提出すること。今回のインカレに参加する大学のすべてのチームが提出するものとし、未提出及び提出の大幅な遅れに関してはペナルティを科す場合もあるので、注意すること。
- 用紙については、当連盟ホームページから前もってダウンロードしてプリントし、もれなく記入して指定した提出先に遅れないように提出すること。

2. サインシート署名・バイクチェック

- サインシートの署名及びバイクチェックは、スタートライン近傍に於いて、男女とも試合当日のスタート前 AM7:15 ～7:45 に行う。必ず走る姿 (ユニフォーム・ヘルメット着用、自転車持参) で参集のこと。

3. 飲食料補給

- 男子は 7 周回目完了時 (スタート後約 35km) から 27 周回目完了時 (スタート後約 135km)、女子は 6 周回目完了時 (スタート後約 30km) から 11 周回目完了時 (スタート後約 55km) までとする。
- 補給はスタート/フィニッシュ地点手前の指定された補給区間において、走行方向右側からのみ認める。補給区間の開始・終了地点は当日現場にて表示する。
- 補給区間に立ち入ることができるのは、チーム役員登録証 (ロード) に記載され、かつ ID カードを着用し、下記の人数を満たす者に限る。ID を着用しない者が立ち入ることはできない。
選手 1 ～ 4 名 ⇒ 2 名、選手 5 ～ 6 名 ⇒ 3 名、選手 7 ～ 8 名 ⇒ 4 名
男女ともにエントリーしているチームについては、男女いずれかの選手数の多い方の補給スタッフ人数を上限とする。

4. ゴミ

- 補給区間においてチーム役員が拾う場合のみ、空ボトル・包装物等を地面に落とすことができる。それ以外の場所におけるゴミのポイ捨てには 1 回 3,000 円のペナルティーを科す。

5. 共通器材 (車輪) について

- 共通器材車に搭載するホイールは主催者にて用意するが、自分の用意した車輪を共通器材車に載せることを希望する学校は、状況により他の競技者により使用されることがあり得ること、共通器材車に載せられた車輪が供出者本人に必ずしも渡るとは保証されないことを了承のうえ、チーム名を明記し、スタート 30 分前までに、サインシート台付近まで持参のこと。



レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://jjcf.info/>



第 72 回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会



2016 年 8 月 25 日 (木) ～8 月 28 日 (日)

トラック競技：伊豆ベロドローム (周長 250m) ロード競技：日本 CSC 5km サークットコース

主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財) 日本自転車競技連盟

後援：スポーツ庁 一般財団法人日本サイクルスポーツセンター サイクルメッカ伊豆推進協議会

協賛：(公財) JKA (公社) 全国競輪施行者協議会 (一社) 日本競輪選手会 株式会社パールイズミ

ブリヂストンサイクル株式会社 セイコータイムシステムズ株式会社 協力：株式会社日直商会

6. チームによる器材の交換 (PIT での器材交換)

- チーム役員登録証 (ロード) で事前に登録したチーム役員 (5 名まで登録可) のみにより、補給ゾーン手前に指定したエリア内でのみ認める。器材の交換は、左側に停車して行うこと。指定した PIT 以外の場所においてのチーム役員による器材交換は認めない。また、一か所の PIT に待機できる人員は各大学 2 名までとする。

7. レースを失格及び除外になった場合

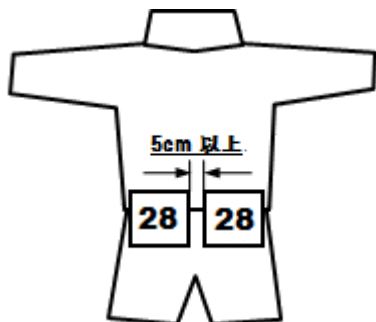
- 原則、先頭選手からレース序盤では概ね 5 分遅れ、中盤からは概ね 7 分遅れの選手は失格となる。レースの途中で失格となった選手は、安全な場所で一旦停止し、ボディーナンバーを自分ではずすか、ジャージを裏返しにして、自力で戻ることを原則とする。コースの逆走は認められないので十分に注意すること。フレームプレートはレース終了まで外してはならない。
- 自ら途中棄権した競技者は、モトコミセール又はフィニッシュ地点の審判員に棄権したことを申告のこと。(トランスポンダ着用の大会ではないので、ご協力を強くお願いする。)

8. 表彰式

- 表彰の準備ができ次第、5 km コース内コース上、コントロールタワー前にて行う。
- 帽子、ヘアバンド、サングラスの着用、サンダル履きは認められない。

9. ボディーナンバー (ゼッケン) について

- ボディーナンバーの取り付けに関すること
 - ボディーナンバーを付ける種目における取付位置は下図の通りです。
 - 乗車した姿勢で、出来るだけシワがよらない様に、装着してください。



2 枚の間隔を 5 cm 以上離し、腰の低い位置に、出来るだけ見易く。

- スタートについて
 - スタート位置でのラインアップについては、以下の順とする。
 - ◇ 前年度上位 10 位まで。
 - ◇ クラス 1
 - ◇ クラス 2
 - 出走者本人以外のスタート位置での場所取りは認めません。



第 72 回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会



2016 年 8 月 25 日（木）～8 月 28 日（日）

トラック競技：伊豆ベロドローム（周長 250m） ロード競技：日本 CSC 5km サークットコース

主催：日本学生自転車競技連盟 共催：（公財）日本自転車競技連盟

後援：スポーツ庁 一般財団法人日本サイクリスポーツセンター サイクルメッカ伊豆推進協議会

協賛：（公財）JKA （公社）全国競輪施行者協議会 （一社）日本競輪選手会 株式会社パールイズミ

ブリヂストンサイクル株式会社 セイコータイムシステムズ株式会社 協力：株式会社日直商会

- ボディーナンバーおよびフレームプレートは大会終了時に大会本部受付まで返却すること。ボディーナンバー、フレームプレートの紛失及び、大会終了時に返却しなかった場合には1枚につき1000円のペナルティーを科す。

10. 映像ユニット等を自転車に付加して走行することは、原則許可するが、2016JCF 規則第 16 条 3. (2) d)

⑥の規定を厳守することを前提とする。また、映像の所有権については、本大会のレース中に撮られたものは、原則、日本学生自転車競技連盟に帰属するものとする。